



新入会員の紹介



浦 泰洋

皆さま、はじめまして。2017年4月より福岡部会に入会しました。浦泰洋(うら やすひろ)と申します。よろしくお願ひします。

出身は長崎県佐世保市です。大学卒業後、福岡の電機メーカーに就職しました。最初は主に企画関係の仕事をしておりましたが20代の後半、営業として2年半の米国駐在を経験しました。当時の日本はバブル経済崩壊直後だったこともあり、日本とは違う米国社会の開放性、創造性、合理性などに衝撃

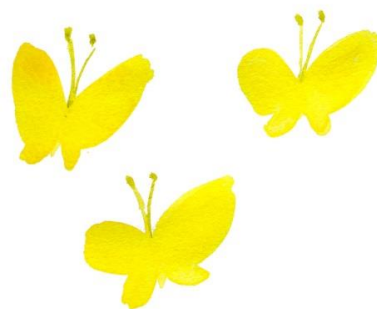
を受け、それまで自分が持っていたジャ・パン・アズ・No.1という価値観が根底から覆ることになりました。

帰国後に転職活動を行い、外資系の生命保険会社へ転職しました。以来22年間、個人・法人向け保険の営業活動を行っています。ただ、国内の生保ビジネスを取り巻く環境は、近年の金利低下や他業種からの参入増など、油断できない状況が続いており、今の仕事で今後も長く生き抜くためには何をすべきかずっと考えていました。

そんな折、同僚が行政書士の資格を取ると宣言したのに刺激を受け、ならば自分は中小企業診断士をと張り合ったのが資格取得を目指したきっかけです。幸いなことに、会社は最長80歳まで働ける環境にありますので、中小企業診断士と言う資格を武器に差別化し、息の長い営業活動が続けていきたいと考えています。今のところ独立開業の予定はなく、企業内診断士として資格を生かしていくつもりです。

生命保険の法人営業においては、顧客との関係性が薄いと、節税効果や返戻率の比較に偏った中身の薄い商談になりがちです。しかしながら中小企業診断士は、一歩踏み込んだ財務分析や経営戦略立案、または助成金の活用など、様々な観点で中小企業経営者へのお役立ちができます。それによる経営者との顧客関係性の深掘りができれば、より質の高い仕事につながると考えています。

実のところ試験合格後の実務補習では、指導員の先生や実習メンバーの皆さんのレベルの高さに少々自信を失いましたが、今後継続してスキルアップしていくために、いろいろな勉強会にも参加させていただきたいと思っています。先輩先生方、未熟な私ですがご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。





三坂 久義

はじめまして、平成29年4月より福岡支部会に入会させていただきました。三坂久義と申します。よろしく願いいたします。

1978年福岡県糸島市生まれ。地元の大学を卒業後、電気メーカーのソフトウェア開発子会社へ入社。組み込みのソフトウェア技術者として、海外向けのPBX(電話交換機)、コードレス電話、国内向け、ドアホン等の開発を約10年行いました。その後コンサル系関連会社へ出向し、Business Intelligenceツールの導入、活用支援を約3年行いました。そして、昨年からは、自動車メーカー様向けのカメラECCUのソフトウェア開発を行っております。

30歳を過ぎたころに会社の総合朝会で毎月報告される経営概況の説明を聞いてもよくわからないことに危機感を覚えました。技術のことばかりでなく、経営や、財務のことでも理解したい。どうせ勉強することなら結果を形(資格取得)にしたい。と思い調べていると中小企業診断士の資格に出会いました。

しかし、今まで私が取得していた情報処理試験や、電験三種、FP2級といったものとはレベルが違うということがWebで調べるとすぐに分かりました。

当時吉塚に住んでいたため、県立図書館で中小企業診断士の先生の経営相談が週末に開催されているという情報を知った私は、中小企業診断士の方に直接相談すれば何か光が見えるかもしれないと、失礼ながら県立図書館へ相談しに伺いました。

当日、武石先生、西先生、近藤先生の3名が相談員として県立図書館にいらっしやいました。経緯をお話すると、まったくお門違いな訪

問者である私に対しても「中小企業診断士の仕事内容から各受験校の特徴や勉強方法まで」親切丁寧に相談に乗っていただきました。

そして、最後に「たとえ資格が取れなかったとしても、勉強したことはビジネスマンとして必ずプラスになるのでぜひ頑張ってください」と激励のお言葉を頂きました。

先述のプロフィールの中で、コンサル系関連会社へ出向できたのも、私が中小企業診断士を目指していることを知っていたチームリーダーが推薦してくださったからであり、お言葉の通り診断士の勉強はプラスになりました。2次試験合格まで7年と時間がかかりましたが、武石先生、西先生、近藤先生のアドバイスのお陰様で今の私があると感謝しております。

実務補習で診断士どうしはパートナーであると指導員の先生がおっしゃられていました。

それは、診断業務は非常に幅が広く一人ですべてをカバーすること

は難しいこと。それぞれ社会人としての経験が違うことにより得意分野がことなるため、補い合うことで相乗効果により、依頼先の企業により高い付加価値を提供できるからということでした。

私は、その言葉に非常に納得し、また共感いたしました。信頼関係を構築するために以下のことを実践してまいります。

- ・常に謙虚さと自信を持って周囲を盛り上げる人になる
- ・仕事の成果をよりよくするために提案する人になる
- ・厳しい時でも言い訳をしない人になる

また、自己研鑽を怠らない姿勢を持ち続けることが大切であると信じて精進していきますのでよろしく願いいたします。



川辺 房男

初めまして、平成29年4月より福岡県中小企業診断士協会福岡部会に入会させて頂きました川辺房男(かわべふさお)です。

団塊世代・真っ只中の68歳です。出身は埼玉県、教師を目指して埼玉大学教育学部を卒業しましたが、教育実習をした時に理想と現実の違いを実感し、民間企業(東洋水産株式会社)に就職しました。

当時の東洋水産(マルちゃん)は業界の中では二番煎じの商品ばかりで、口の悪い取引先には「マネちゃん」と言われました。しかし逆に全国市場では二番煎じや三番煎じの商品でも、地域や販売ルートを限定すればシェア1位を占めることができる営業を経験したことが、

業種・業界問わず営業に自信を持てるようになりました。

例えば、当時の食品メーカーの多くが取引を躊躇していた生協に積極的に働きかけることで取引金額が大きく伸び、1億円だった取引額を54億円まで伸ばすことが出来ました。

中小企業診断士の資格にチャレンジしたキツカケは、精神論の営業でなく論理的な営業活動は出来ないものかと悩んでいた時でした。当時の大手量販店は流通革命を標榜してメーカーにバイイングパワーを振りかざし、カタカナ言葉の羅列で厳しい要求をするばかりの商談ばかりでした。商談時にまともなことを提案出来ないため、一念発起をして夜間の診断士講座へ通学をしました。

勉強すればするほど中小企業診断士の存在は日本経済に欠かすことができないものであり、中小企業が抱える様々な経営課題へのアドバイスは社会貢献度の高い仕事であると感じて独立しました。しかし、サラリーマン時代には考えられないほど時間はあるものの経営相談の

仕事はほとんどない状態でした。

恩師から、資格の学校で中小企業診断士受験の専属講師を探しているという話をもらいすぐに応募しました。全科目を担当しないと食べていけない時代でしたので、頑張ったところ合格率が20%前後の時に、私が受け持ったクラス(全科目を一人で指導)の合格率は平均50%、最高80%を達成しました。その後、講師仲間から診断士の学校を作らないかと声をかけられ役員として参加しましたが、経営方針に食い違いが生じ一年半後に退職をしました。

その頃、受講生から民間企業向けの研修会社を設立する人がいるが専属講師(主に、営業研修)の声を掛けてもらいました。理論と実践を一致させたカリキュラムを策定し、大手通信会社・大手電機会社・全国紙の新聞社へ出向いて行きました。44都道府県の支店や企業へ行きましてホテル住まいが100〜150泊になる10数年間でした。

講師になるために独立したので

はないという思いに悩んでいた時に、友人から中小企業の重要な経営課題の一つである「販路開拓」を、支援する中小企業施策が出来たが応募しない?と声をかけられたのをきっかけに、(独)中小機構の販路ナビゲーター事業や6次産業化プランナーとして中央サポートセンターや宮城県農林水産部に登録をさせて頂きました。

お陰で、業種を問わず毎年100社近い企業の「販路開拓支援」、「新製品の評価」をはじめ「経営革新」、「創業支援」、民間企業の顧問や研修講師を行ってききました。

私事で福岡市に転居しましたが、人脈もネットワークも全くゼロの地です。東京の知合いから福岡県中小企業診断士協会のU先生を紹介され、協会の活動内容を詳しくうかがいすることができましたので入会しました。

微力ですが福岡県中小企業診断士協会の成長発展に貢献できれば嬉しいです。宜しくお願いいたします。



研究会紹介

新入会員募集

海外ビジネス支援研究会

当研究会は、海外ビジネス支援に興味を持つ福岡県中小企業診断士による研究会です。
実務的研修を通して中小企業海外展開支援業務のノウハウをメンバーで共有していきます。
海外支援に未経験の方の参加も歓迎します。



(インドネシア:販路開拓プレゼンの様子)

(目的)

海外事業を企図する中小企業に対して、海外事業を促進するための支援及びコンサルティングに関する事業を行い、日本経済の発展に寄与することを目的とする。

(開催)

月1回(月々設定)

(場所)

福岡県診断士協会会議室

(会員数)

16名(平成29年3月現在)

会長:鐘江敏行

副会長:萩尾重則)



(ミャンマー:シュエダゴンパゴダ)

の交流他

(今後の動き)

- ・海外支援計画・営業促進・補助金申請等対応(案件リスト化、個別支援グループの組成)
- ・国交省(戦略アドバイザー)、中小機構、JICA、JETRO、福岡関連団体等とのネットワーク強化
- ・JICA中小企業ODA施策への組織的対応
- ・公的団体のアドバイザー事業、施策応礼等の検討
- ・海外展開コンサルティング会社、サービス会社との連携
- ・外国人技能実習制度受入れ監理団体との連携、居住外国人連携
- ・国際派診断士の育成・リスト化と年6回の勉強会開催

- ### (主な活動内容)
- ・当会会員による海外展開コンサルティング業務の事業化
 - ・JICA「中小企業ODA事業」等海外展開公的支援策の活用
 - ・診断士の海外展開コンサルティング・支援業務能力の向上
 - ・診断士海外展開支援事例の紹介

- ・海外展開コンサルティング技術・課題勉強会の開催(年6回)、懇親会(年1~2回)
- ・福岡県内海外関連諸団体と





(平成 29 年 3 月海外研修:シンガポール)



(平成 29 年 2 月協会研修)

観光産業活性化研究会

(趣旨)

観光産業の活性化を目的に設立した研究会です。世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)の日本における旅行・観光産業の経済的影響を分析した報告書「Travel & Tourism ECONOMIC IMPACT 2016 JAPAN」を発表によると、間接寄与額(将来に向けた投資や政府によるプロモーション)関連支出、旅行産業から派生する事業費などを含むGDP総寄与額は、2015年が39兆4313億円、2016年は3.5%増の40兆8105億円。

その後年率1.7%で成長し、2026年までには48兆5033億円に至ると予測されています。

観光立国の実現は21世紀の我が国の経済社会のための発展には不可欠な国家的な課題とされています。そこで当研究会では、観光産業の支援にかかわり、成功事例を輩出し全国の先進的事例をまずは

作ることを目指していきます。

観光産業と密接に関係があるホテル・旅館だけでなく、地域の小売業・サービス業等の支援、また地域の観光資源を活用した特産品やサービスの開発にも取り組みなながら、観光地の全体最適なモデルを提案していきます。また交通産業機関等との連携も図っていききたいと思っています。

(活動内容)

本研究会は診断士協会の公認の研究会です。観光産業の専門知識の習得や観光地などの視察などを行いながら、現状の課題などについてディスカッションしていきます。また行政などに働きかけ、福岡県中小企業診断士協会としての受注を目指していきます。

また、昨年は被災地支援として熊本商工会議所に働きかけ、熊本県中小企業診断士協会の協力を得て、小規模持続化補助金のワンデイセミナーを行い、多くの採択者を導きました。

一見、観光産業の活性化とは関係がないように思われるかもしれませんが、広い意味では観光と関わりがありますので、このような活動も積極的に行っています。

(メンバー)

平成29年2月末時点の会員数は14名です。

内訳は独立診断士11名、企業内診断士が3名です。出身は食品メーカー、金融機関、アパレル出身など多種多様な業界の方がいます。

(開催日など)

原則月に1回開催しています。近々の開催日は3月28日(火)18時30分より診断士協会で行います。

企業内診断士活躍研究会

・テーマ

「企業内診断士活躍研究会は、企業内診断士による企業内診断士のための研究会です。」

・概要

企業内診断士活躍研究会(以下、「本研究会」という。)は、会社又は団体等に勤務している中小企業診断士(以下、「企業内診断士」という。)で構成している福岡県中小企業診断士協会(以下、「協会」という。)の公認研究会です。

企業内診断士の皆さん、本研究会の事務局、世話人、及び所属メンバー全員で、新たに入会される皆さんが楽しく参加できるようにフォローいたしますので、お気軽にご連絡ください。

・趣旨

本研究会は、企業内診断士同士の仲間作りをすることで、協会内における人的ネットワークの構築を促進します。加えて、本研究会の所属メンバーの相互研鑽により、専門知識の拡大を図ります。

協会内に仲間が増えることで、協会が主催する事業、他の研究会、イベント、及び懇親会等に参加する契機となります。独立診断士の皆さんとの橋渡しも心掛けています。

・発足経緯

協会では、業務委員会が企業内診断士を支援する役割を担っています。

平成27年度に企業内診断士2名が業務委員会に加わったことで、本研究会が発足されました。

協会としても、企業内診断士の「活動拠点づくり」をバックアップしています。

・活動内容

定例会は、会員の持ち回り講師による勉強会と懇親会で構成しています。

平成28年4月に第1回定例会を実施し、その後は2ヶ月に1回の頻度で定例会を実施しています。

- ・第1回 信託受益権、インバウンド
- ・第2回 医療ビジネスの動向
- ・第3回 印刷業界の現状
- ・第4回 金融業界の現状
- ・第5回 鉄道業界の現状
- ・第6回 電力業界の現状

(メンバー)

金融機関、医薬系企業、知的財産企業、鉄道業、運輸業、総合電機産業、印刷業、不動産投資運用業等、様々な業種の方がメンバーです。

研究会に入会后、中小企業診断士として独立開業された方も継続して参加されています。本研究会は、多様性及び発展性を歓迎する研究会です。



(連絡先)

次回の定例会は、平成29年5月16日(火)19時スタートの予定です。

企業内診断士の皆さん、ぜひお気軽にご参加ください。

企業内診断士活躍研究会 会長

越川智幸

(info.koshikawa@gmail.com)

経営相談技術向上研究会

当研究会は、診断士協会の実務従事事業の一つとして行われている起業・経営相談会(県立図書館その他の会場との共催事業)の対応メンバーの有志を中心に、経営相談対応力を向上させ、相談会の効率を上げる目的で、平成24年6月に発足しました。

その後、メンバーも増加し、現在、約40名がメンバー登録しています。

(研究会の活動内容)

- ・2か月に1回の研究会の開催
- ・年4回の県立図書館創業セミナー(相談会の関連イベント)の講師
- ・創業スクールの運営と講師及び商工会等が主催する創業塾の講師などが主な内容です。

2か月に1回の研究会は、県立図書館の会場で約2時間、相談会で

対応した体験談を交代で発表し、対応内容の課題や改善点の討議、関連情報(業種・業界の現状と課題、

将来性などの調査結果等)の提供、関連の諸制度や施策の紹介などを行っています。

このように情報共有を行い、意見交換をすることによって、メンバーの能力向上を図り、結果として相談会を質的に向上させ、より役に立つ相談会とするよう努力を続けています。

県立図書館創業セミナーは、年4回のシリーズで行われ、平成28年度の例では「創業にあたっての事業計画の立て方」「創業時の資金調達について」「創業知識と経営知識」「顧客の獲得」をテーマにし、この内、外部講師にお願いした資金調達以外の3テーマを、研究会メンバーが講師を担当しています。

講師を務めることによって、自分の知識を確認しより深めることにもなります。また、講師以外のメンバーもセミナーに参加して自己研鑽もしています。

創業スクールは、中小企業庁からの委託事業に応募し、カリキュラ

ムや運営方法について検討を重ね、平成26、27、28年度の3年間で8コースを実施しました。

平成26年度には、全国200数十コースの中から、受講者満足度の高い「創業スクール10選」に選ばれています。

この経験を活かし、県内の商工会等が実施している創業塾等を受託すべく営業活動を始め、平成27年度には、福岡市から商店街空き店舗創業応援塾を、平成28年度には、商工会から創業塾3コースを受託し、実施しました。

これら創業スクール、創業塾では、コース終了後の受講者の創業までのフォローを行い、創業者を支援することによって創業実現の後押しをしています。

当研究会としては、今後も3つのテーマについて検討・推進し、より充実した相談会やより質の高いセミナー、創業塾等を実現するとともに、研究会メンバーの相談対応能力や創業支援能力の一層の向上を

図っていきます。

経営相談技術向上研究会

石川 重夫

(研究会開催日)

偶数月 原則第2土曜日

(開催場所)

県立図書館

(連絡先:事務局)

重村 和博

(Kashigemura@assak.jp)



産業廃棄物研究会

(活動内容)

廃棄物処理問題の深刻化に伴い、循環型社会の構築が急務の課題となってきました。

これら時代環境に対応して、廃棄物の適性処理並びに資源有効利用(リサイクル)に関しては、既存業者の経営体質の変革(環境経営、管理技術、コンプライアンス等)や新たなビジネスの創業等、私達中小企業診断士にとり、重要なコンサルティングビジネスの領域(分野)であると言えます。

当研究会は、“産業廃棄物及びそれに関する事業者の経営の勉強”を行うと共に“そのコンサルティングのスキルアップを図る”事を主な目的とします。

そのため、参加者には福岡県の産業廃棄物対策課より依頼を受けた、産廃業者の産業廃棄物処理施設更新許可の審査に伴う経営診断書を作成してもらいます。(実績年間数件程度)

その経営診断書に基づいて、年数回程度の産廃業者に対する経営診断の勉強会を行っています。

(診断の概要)

産業廃棄物法施行規則第10条二項(産業廃棄物の収集または運搬を的確に、かつ、継続して行うに足りる経理的基礎を有すること)に基づき、具体的には下記の判断基準により審査を行う。

(経理的基礎の判断基準)

利益を計上できていること(過去3年間の損益平均値を持って判断) 債務超過の状態ではない(自己資本比率が3割を超えていることが望ましい)

(メンバー)

現在、登録は13名ですが、毎回参加は10名程度の小規模な研究会です。

でも15年の活動実績を誇ります。現在、徐々に若返りを図っており、新人メンバーには、ベテランと組んで実際に産廃の診断に従事してもらうところから始めます。

(開催日・場所)

現在は年に3回程度、県の担当者にも参加してもらって、診断士協会の会議室で行っています。

(連絡先)

事務局 薬師寺 寛
TEL:090-9470-3572
E-MAIL:yakusizi@k8.dion.ne.jp

目次	
1. はじめに	
(1) 診断報告書作成の経緯	
(2) 精査結果のまとめ[概要]	
2. 企業概要	
3. 事業課題の経緯と業績	
(1) 経営の現況と売上高について	
(2) 経営指標について	
(3) 現在の財務上の課題について	
	4. 改善課題に向けた当社案の精査結果
	(1) 改善課題の内容と収支の適合性の指摘事項
	(2) 修正後損益計算書について
	① 修正後損益計算書
	② 修正後キャッシュフロー
	③ 企業作成の貸借対照表
	5. まとめ

作成する報告書の目次例



研究会一覧					
No	研究会名	代表者	連絡先	目的	開催状況
1	観光産業活性化研究会	高柳和浩	k.takayanagi.smiles@gmail.com	観光立国の実現は21世紀のわが国の経済社会のための発展には不可欠な国家的な課題とされています。官公庁の資料によると平成28年度までには国内旅行消費額を30兆円にする計画です。そこで当研究会では、診断士協会として観光産業に関わり、成功事例を輩出し、全国の先進的事例を作ることを目指していきます。	月1回
2	FC経営研究会	榎本健次	kmakimoto@mkbrain.co.jp	優秀な技術やノウハウを持っている企業が急速に自力で急成長することはかなり危険であるが、そのノウハウを持って他人の資本で急拡大できるフランチャイズシステム構築についての研究をおこなっています。また、逆にノウハウのない中小企業が新しい分野に取り組む場合に比較的簡単にノウハウを取得できるフランチャイズチェーンの選び方や加盟の仕方などについて研究し、中小企業の発展を目指しています。	月1回
3	診断技術研究会 ※4月より名称変更予定	榎本健次	kmakimoto@mkbrain.co.jp	優秀な技術やノウハウを持って明日へと向かう中小企業について、力強く成長するその姿を公正で客観的に評価する「福岡県中小企業技術経営力評価制度」について、受託事業者として診断・評価技術を高めるための研究を行っています。	月1回原則第三土曜日午後
4	海外ビジネス支援研究会	鐘江敏行	tscanegae@kih.biglobe.ne.jp	海外事業を企図する中小企業に対して、中小企業診断士の知見を通して、支援、コンサルティングを行い、地域経済の発展に寄与することを目的としています。	月1回
5	産業廃棄物研究会	薬師寺寛	yakusizi@k8.dion.ne.jp	福岡県から産業廃棄物業者の許可更新に関する経営分析を受託し、その成果について県の担当者も交えて研究会を実施しています。	年4回
6	創業・経営革新研究会	長柄一夫	kaz.nagae@jcom.home.ne.jp	企業の創業・経営革新を支援することにより、日本経済の活性化へ寄与することを目的としています。この活動を通じて、①診断士(特に企業内診断士)のレベルアップ ②企業の経営革新・海外展開などの支援を実現していきます。	月1回第四水曜日
7	経営相談技術向上研究会	石川重夫	ishikw4@d8.dion.ne.jp	福岡県内の各図書館などと連携し、土日に無料相談会を実施しています。研究会では、対応内容の紹介と討議などを行っています。それを通じて、①経営相談対応技術の向上 ②相談会情報の共有 ③経営相談会の活性化を図っています。相談会対応者には中小企業診断士の更新に必要なポイントが付与されます。	二ヶ月に1回
8	企業内診断士活躍研究会	越川智幸	info.koshikawa@gmail.com	本研究会は、企業内診断士同士の仲間作りをすることで、協会内における人的ネットワークの構築を促進します。加えて、本研究会の所属メンバーの相互研鑽により、専門知識の拡大を図ります。協会内に仲間が増えることで、協会が主催する事業、他の研究会、イベント、及び懇親会等に参加する契機となります。独立診断士の皆さんとの橋渡しも心掛けています。	二ヶ月に1回
9	地方創生研究会	田代稔	tashiro@ms-keiei.com	①地方がそれぞれの特性を活かし、自律的で持続的な、魅力溢れる地域社会を形作ることに対し、「地域の診断士」という視点で総合的に支援することを研究し実践する。 ②「地方・地域の経営支援」という新たな活躍のフィールドを開拓し、「経営」と言えば「診断士」と言われるように定着を図る。 【研究会の5年後の姿】 ①5年以内に、この会のメンバーから地方自治体の「経営顧問」を誕生させる。 ②「地域の経営」支援のための専門家のネットワークを形成する。	月1回

編集後記

今年度最後の部会報はいかがでしたでしょうか？

今回も『県内の中小企業支援団体からのお知らせ』を記載する予定でしたが、年度末で確定していないなどの理由で告知はありません。次回以降にお知らせします。

福岡県中小企業診断士協会や福岡部会では、会員の皆様向けに、様々な研修会や交流会を実施しております。今回は、年度初めという意味も込めて、現在の研究会の情報をお知らせしました。ご興味がある研究会がありましたら、ご参加の程、宜しくお願い致します。

今回、記事を提供していただいた皆様、いろいろとご協力していただいた皆様、部会報を読んでいただいた皆様、いつも本当にありがとうございます。皆様のご協力のおかげで福岡部会報はなりたっております。今後とも宜しくお願い致します。

今後の部会報作成に役立てたいと思っていますので、アンケートへのご協力をお願い致します。以下、URL よりアンケートページにリンクしています。

<https://goo.gl/forms/9frxCBpfCU3e532L2>

福岡部会 広報委員長 廣木鑑治

一般社団法人 福岡県中小企業診断士協会 福岡部会 福岡部会だより 2017年3月31日 発行
--